

## こども療育Cに大型テレビ 県電設協が社会福祉支援

社会福祉支援を続けている熊本県電設業協会



手紙を受け取る岩崎会長

(岩崎裕会長)は、宇城市松橋町の熊本県こども総合療育センターに液晶テレビ1台を贈った。8日に贈呈式があり、岩崎会長らがセンターを訪問。池邊嗣朗所長や入所児童が迎え、感謝を伝えた。

社会福祉貢献の一環として2014年に始まったもので、9回目。毎年開催しているチャリティゴルフの収益金を基に、これまでにも車いす7台、液晶テレビ(55インチ)1台を贈呈している。今回は、昨年10月にあった熊本・宮崎・鹿児島3県電設協による合同ゴルフコンペの収益を活用。参加人数が多かったこともあり、昨年より大型の65インチ液晶テレビを寄贈した。

贈呈式には、協会から岩崎会長(不二電気工業)、山本盛重広報委員長(新尾)、長谷新次郎事務局長が出席し、入所児童らと対面。子どもたちを代表して佐々木真人君が感謝の言葉を述べ、岩崎会長にお礼の手紙を手渡した。池邊所長は「面会や外出もままならない窮屈な生活を強いられる中、新たな学びや楽しみなど、好奇心を刺激するより豊かな生活が送れるようになった」と感謝。

岩崎会長は「子どもたちは私どもの宝であり、全協会員の願いを込めて贈呈させていただいた。継続的な行事として、また1年後もお会いできるよう頑張っていきたい」と力を込めた。

